



日本財団

【あなたのまちの海の日サポートプログラム】事業

下関・海と地域を学ぶ体験教育プログラム（海の日サポート）

【実施報告書】

下関海の日協賛会

【実施主体】

下関海の日協賛会

【実施事業及び実施日】

- (1) 未来を描こう長州出島スケッチコンテスト 平成27年7月13日、14日
- (2) 下関港の港を学ぶツアー 平成27年8月13日
- (3) 関釜フェリー はまゆう de ランチ 平成27年7月25日

(1) 未来を描こう長州出島スケッチコンテスト 実施報告

実施日・実施校

- ①平成 27 年 7 月 13 日（月） 下関市立神田小学校
- ②平成 27 年 7 月 14 日（火） 下関市立山の田小学校

参加者

下関市立神田小学校・山の田小学校 合計 106 名

主旨

日常では立ち入ることのできない、整備中の沖合人工島「長州出島」において施設を見学するとともに、港や船について学習し、海に浮かぶ長州出島の未来を子ども達の独創性にに基づきスケッチしてもらうもの。

実施内容

[神田小学校]

学校から長州出島までバスで移動

長州出島内の管理棟において、下関港及び長州出島についての概要説明

説明：下関市港湾局

スケッチの下書き

施設・岸壁の見学

作品の仕上げは 2 学期に学校で行った



[山の田小学校]

学校から長州出島までバスで移動

長州出島内の管理棟において、下関港及び長州出島についての概要説明

説明：国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所・下関市港湾局

施設・岸壁の見学

作品の仕上げは2学期に学校で行った



スケッチコンテスト審査結果

金賞・・・2点

銀賞・・・3点

銅賞・・・6点

※審査は実際に長州出島の整備及び振興に携わっている、国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所及び下関市港湾局のスタッフにより、「未来の長州出島」のイメージにふさわしい作品に投票してもらった。

※受賞作品は、下関市港湾局ホームページにおいて掲載する。



金賞の作品

参加者の声

- ・下関で開催されるマラソン大会の時にしか入れない長州出島を見学できてとても楽しかった。
- ・市内の小学生で初めて見学できてとても嬉しい。
- ・長州出島での説明と見学で、海や船に対する興味が強くなった。
- ・長州出島が子ども達にとっても親しみやすい場所になって欲しい。

総括

- ・参加した小学生は、日頃立ち入ることのできない長州出島の中で、広いヤードやたくさんのコンテナ・中古車など珍しい景色に、とても興味深い様子であった。
- ・本事業により、長州出島がより市民に身近に感じてもらうことができ、大変有意義であった。
- ・学校の募集に際しては、採択決定後の募集開始となったため、大変苦慮した。特に7月の1学期終了までに実施可能な小学校は、移動距離も含めて考えると限定される。
- ・スケッチは当日で完成するものではないので、学校に持ち帰った後に事業で仕上げる形態となった。参加校の以降で、10月くらいまで作品の仕上げにかかった為、事業の終了が大幅に遅れることとなった。
- ・今後同事業を実施する際には、募集時期及び作品の仕上げ期間などを十分考慮する必要がある。

(2) 下関の港を学ぶツアー 実施報告

実施日

平成 27 年 8 月 13 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分

参加者

下関市民 76 名

募集方法

市報しものせき及び下関市ホームページ等により募集し抽選で決定

主旨

海及び港の役割についての理解を促し、興味をもってもらう為に、下関港において日本海側に整備中の沖合人工島「長州出島」や、本港地区寄港中の客船「にっぽん丸」を見学するもの。

実施内容

午後 1 時 30 分 下関における海の玄関口、韓国釜山へのフェリー航路の発着点でもある“下関港国際ターミナル”に集合。本事業の主旨説明の後、移動。



午後 2 時 下関港本港地区第 2 突堤に到着。通常は一般貨物埠頭として利用されているが、関門海峡花火大会が行われる毎年 8 月 13 日には第 2 突堤に客船「にっぽん丸」、第 1 突堤に客船「ぱしふいっくびいなす」の 2 隻が同時寄港している。今回は特別に「にっぽん丸」(商船三井客船運航)の協力のもと実施となった。制限区域内への入場手続、乗船手続の終了後、乗船開始。船内では、クルーの案内のもと、日頃乗船することのできない豪華客船の様々な施設を見せていただき、「とても過ごしやすそう」「この船で旅行してみたい」などの声が多く聞かれました。



午後 3 時 「にっぽん丸」下船後、沖合人工島「長州出島」に向けて移動。

午後 3 時 30 分 沖合人工島「長州出島」に到着。「長州出島」はコンテナ貨物や船舶の大型化に対応する為に、関門海峡に比べて制約の少ない日本海側に整備され、平成 21 年から一部供用が開始されている。昨年 4 月からはアフリカ向けの中古車の輸出、今年 4 月からはコンテナ船の寄港が開始し、過去 2 年間で客船が 2 回寄港するなど、多目的国際ターミナルに相応しい利用が進んでいる。制限区域名への入場手続き後、港湾局職員の案内のもと、管理等より長州出島を一望しつつ概要説明を受け、実際に岸壁のエプロン部分に移動し、大型クレーンや多数のコンテナや中古車を間近に観ることができた。長州出島は工事中ということもあり、毎年開催される海峡マラソンでコースとして利用される以外には、一般の入場ができないことから、「初めて長州出島に入れた」「中古車がたくさんあってすべてがアフリカに行くことに驚いた」「とても広い土地がこれから何に使われるのか」などの感想や質問が寄せられました。

午後 4 時 長州出島を出発

午後 4 時 30 分 下関港国際ターミナルに到後に解散。

参加者の声

- ・夏休み期間であり、家族で参加できて良かった。
- ・「にっぽん丸」に初めて乗船できた、次はクルーズで旅行してみたい。
- ・長州出島にいつでも入れるようにしてほしい。
- ・このような勉強になる事業は頻繁に行ってほしい。

総括

・本事業では、参加者に通常体験できない客船・港を見学することを通じて、海や船に関係した内容に深く興味をもっていただけた。参加者からも貴重な機会が得られたとの声が多く聞かれたとともに、夏休み期間中ということもあり、親子で参加できてよかったとの声もあった。

・一部には、お盆期間で多忙な 8 月 13 日でなければ参加できたのに、との意見もあったが、実施期間内のクルーズ客船の寄港は該当日のみであった為、実施となった。

・また、当初は 8 月に市内で新造船の進水式の予定があり、これに合わせた見学会も企画していたが、一般公開されないものとなった為、不実施となった。

(3) 関釜フェリー はまゆう de ランチ 実施報告

実施日

平成 27 年 7 月 25 日 (土) 午前 11 時～午後 1 時 30 分

参加者

下関市民 84 名

募集方法

市報しものせき及び下関市ホームページ等により募集し抽選で決定

主旨

海及び港の役割についての理解を促し、興味をもってもらう為に、下関港から毎日運航している韓国釜山航路の関釜フェリー「はまゆう」において、船での旅行の魅力などについて体験してもらうもの。

実施内容

午前 11 時 制限区域内より関釜フェリーに乗船。関釜フェリー職員のアテンドのもと、船内設備や客室、ブリッジなどの見学を行う。



午前 12 時 関釜フェリー内のレストランにおいて、実際に船内で提供される韓国食を体験。(子どもにも食べやすいように辛すぎない食事を選定)



午前 1 時 関釜フェリー内のホールにおいて、下関海洋少年団による手旗信号等の実演、関釜フェリー船長による挨拶、韓国釜山の観光映像の上映。



午前 1 時 30 分 終了後、下船し解散。



参加者の声

- ・なかなかフェリーで旅行できないが、見学や体験ができてとても良かった。
- ・夏休みの週末ということで、家族連れで参加できた点が嬉しい。
- ・韓国食も食べやすくて子どもも喜んで食べていた。
- ・今度ぜひ関釜フェリーで韓国旅行を楽しんでみたい。
- ・今後も定期的に実施してもらいたい。

総括

- ・下関港の特長の 1 つである関釜フェリーに市民に触れてもらうことで、海峡都市らしい事業を実施することができた。
- ・実施時期、内容ともに最適なものであったことで、参加者も主催者も満足度の高い事業となった。
- ・当日キャンセルが数名出た点で、前日に参加確認を行うなど、今後の改善を検討したい。